ねんきんだより Pensions News

保険料の免除申請は毎年必要！

経済的な理由などで国民年金保険料を納付することが困難な場合には、申請により保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」や「若年者(30歳未満）納付猶予制度」があります。

保険料の免除や猶予を受けず保険料が納め忘れの状態で、万一、障害や死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金・遺族基礎年金が受けられない場合があります。

平成28年度の免除などを平成28年７月１日(金)から受け付けします。審査対象期間は平成28年７月から平成29年６月までです。また、申請は原則として毎年度必要です。ただし、全額免除及び若年者納付猶予については、継続申請することができます。今まで全額免除または若年者納付猶予の承認を受けており継続申請をしていないかた、一部免除の承認を受けていたかたは、６月で承認期間が切れていますので、ご注意ください。

問合せ 太田年金事務所 ☎49－3916

消費トラブルにご注意！

「無料」のはずが６万円
廃品回収サービスのトラブル事例

「無料」とアナウンスしながらトラックで巡回している業者を呼び止め、廃品回収を依頼した。作業前に、無料であることを確認したが、不用品を軽トラックに積み終えたとたんに６万円を請求された。話が違うと抗議したが、「回収代金は無料だが、積み込み料金は発生する」と言われた。しつこく請求されたので、仕方なく手持ちの３千円だけ支払った。

残金は近いうちに取りに行くと言われたが、支払わなければいけないのか。領収証もないし、業者の住所や電話番号もわかりません。

(60歳代女性)

ひとこと助言

「無料回収」をうたって巡回している廃品回収業者に依頼しても、積み込み時に料金を請求されるケースがあるので注意しましょう。

粗大ごみや不用品の処分は、町のごみカレンダーをご確認ください。処分方法について不明な点がある際は、資源化センターに確認しましょう。

一般廃棄物の収集・運搬は市町村の許可を受けた事業者しか行えません。安易に廃品回収業者に処分を依頼することは、トラブルとなる場合もあるので避けましょう。

不審に思ったときや困ったときは、消費生活センターにご相談ください。

相談は消費生活センターまで ☎82－7830(ナヤミナシ)

水道工事休日当番

月	日	曜日	当番店	電話
7	2	土	山岸管工設備	82-0095
	3	日	小倉設備	82-0261
	9	土	㈲根岸工業	82-0537
	10	日	㈲岩崎設備	82-0027
	16	土	㈲長谷川設備	77-0358
	17	日	土橋設備	82-2982
	18	祝	㈲佐山設備	82-2152
	23	土	小倉設備	82-0261
	24	日	宇治川管工	77-0057
	30	土	㈲岩崎設備	82-0027
	31	日	㈲しんえい設備	82-0001
8	6	土	土橋設備	82-2982
	7	日	㈲佐山設備	82-2152
	11	祝	山岸管工設備	82-0095
	13	土	宇治川管工	77-0057

●水道に関する問合せ
群馬東部水道企業団館林支所 ☎80－3201

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
7月3日(日)	はまだクリニック 80－1100	益田小児科※ 62－5535	岡田整形外科クリニック 72－3163	今村クリニック 70－2221
7月10日(日)	神尾内科医院 75－1288	蜂谷病院 63－0888	ふじの木整形内科クリニック 91－4070	－
7月17日(日)	後藤内科医院 72－0134	ミツワ診療所 70－3030	新橋病院 75－3011	板倉耳鼻咽喉科クリニック 80－4333
7月18日(祝)	さくらクリニック 72－3855	福田ペインクリニック 84－1233	小曽根整形外科 72－7707	－
7月24日(日)	阿部医院 62－5428		澤田皮膚外科 70－7703	－
7月31日(日)	たけい小児科・アレルギー科※ 76－2525	富士クリニック 20－1971	慶友整形外科病院 72－6000	川田耳鼻咽喉科医院 72－3314
8月7日(日)	横田胃腸科内科 72－4970	おぎわらクリニック※ 61－1133	最上胃腸科外科 74－3763	川村耳鼻咽喉科医院 72－1337
8月11日(祝)	こやなぎ小児科※ 80－2220	ましも内科・胃腸科 62－2025	高木整形外科 62－6611	－

歯科	
館林邑楽歯科保健医療センター 73－8818 午前9時～正午・午後1時～3時	◆緊急 館林厚生病院 72－3140(内科系・外科系) ◆夜間 夜間急病診療所 73－2313 午後7時～10時(日、祝日を除く) 内科・小児科(要電話確認)

●診療時間は、午前９時～午後５時
●耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時 ●高木整形外科は、午前のみの診療となります。
●内科形の※は、小児科のみとなります。
●救急テレホンサービス（☎73－5699）：受診可能病院を紹介しています。

Face フェイス

世界の見方を変える知識

学ぶ楽しさ伝えたい

増田賢一さん

MASUDA KENICHI

ますだ けんいち/41歳 岩田在住
趣味は、コラムや演劇の台本などの文章を書くことと、自転車に乗って出かけること。現在２児の父として子育て中。

知識は世界の見方を変える

板倉高校の国語教師、増田賢一さんは言う。「カンコー学生服のカンコーって、元々どういう意味かご存知ですか？ あれは、菅公、つまり学問の神様菅原道真のことです。また、板高の校章は梅の花。だから、板高は高鳥天満宮と縁があるとも言えます。こういう話をすると生徒は熱心に聞いてくれますし、母校や地域に対して少し違った見方をしてくれるように思います。」知識は世界の見方を変えてくれる、その面白さを伝えたいという思いが、増田さんの原動力だ。

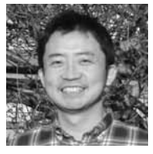
皆で作りあげる喜び

学生の頃から本が大好きだった。読書によって何かを知り「それまで当り前だと思っていたことが当り前でなくなる」醍醐味を知った。その楽しさを誰かに伝えて相手が喜んでくれるとなお一層嬉しかった。学生時代は特に「教師になりたい」とは思わず、先輩に勧められるがままに教職課程をとり、北国に対する漠然とした憧れから北海道の教員採用試験を受けた所、合格。「何となく教師の道を歩むこととなった」

けれども、最初に赴任した小樽の高校で貴重な経験をする。たまたま演劇部の顧問をすることになるが、部員が三人しかいない。コンクールに向けて、三人でもできる芝居をと、自ら台本を書いたり、生徒らと奮闘するうちに、よその部から一人、二人と助っ人が現れ始め、最終的には十六人の芝居を披露することができた。皆で一つのものを作り上げる喜びを知った。その後、群馬県に戻るが、前任の館林女子高でも、今年赴任した板倉高校でも演劇部の顧問を務めている。

言葉の精度は

板高での抱負は「語彙(ごい)力をつけさせてあげたい。言葉の精度は世界を切り取る精度です。思考の道具としての言葉を、もっと増やしてあげたい」と言うこと。教育現場からの町の活性化に期待したい。



レポーター
広報編集委員
原田(はらだ) 一平(いっぺい)

広報いたくら６月号 FACE プロフィール欄で、「板倉ニュータウンに歯科医院を開業」とあるのは「板倉ニュータウン付近に歯科医院を開業」の誤りでした。お詫びして訂正します。